

# 下松工業会報

平成19年7月1日 第38号

社団法人 下松工業会  
〒744-0012 下松市北斗町12番4号  
事務局 下松工業同窓会館  
TEL (0833) 43-1336  
FAX (0833) 41-7448  
URL: <http://www.kudakokai.org>  
E-mail: [kogyokai@triton.ocn.ne.jp](mailto:kogyokai@triton.ocn.ne.jp)



## 下工、ビジネス・ ネット・ワークについて

会長 野田 泰典

五月晴の平成19年5月19日に社団法人下松工業会の総会が下松駅南のきらぼし館で開催されました。当日は大変お忙しい中、井川下松市長、広島市議会議長、学校から藤井校長、鈴木元校長、兼田元校長、竹中元校長の御臨席を賜りありがとうございました。又、会員140数名の参加者で懇親会も時間を忘れる程の盛況でした。ここ数年会場が一定せず、毎回場所が変わり皆様方に大変不便をお掛けしていましたが、昨年下松駅南のリジューム計画も終わり市の多目的ホールきらぼし館が完成しました。昨年のオープンの時、第一号の借主は(社)下松工業会で、イベントとして下松散歩の原画展を催しました。

総会の特別講演として化22卒の先輩で大阪で三織産業の社長荒谷実貴男さんの「根性人生と勝つ経営」と題して講演されました。成功の秘訣は何事もチャレンジ精神で前向きに生きる事が人生運を掴む事と話され我々に大いに刺激になりました。

昨年10月末に工業会館のシンボルであった喫茶グリルが閉鎖になり、今年3月に新しくイタリア料理のソリッヅがオープンし、入居者の入れ替わりがありました。3階の宴会については今迄通り料理の注文が出来ますので大いに利用して下さい。

次に下工弁慶号ですが、本年4月2日桑名市から下松に帰って来ました。桑名市でボイラーの検査を受け、塗装も新しくりっぱになって今市役所広場にあります。今年(7月10日～9月9日)は東京で「大鉄道博覧会」が催され、弁慶号も展示されることに

なりました。東京方面に行かれましたら是非見学して下さい。弁慶号も全国ブランドになりました。

工業会の運営についてアンケートを取りました。

会館運営においては

1. 会誌を在校生に配布したらどうか。
2. 工業会館内にサロン風の部屋は出来ないか。
3. 総会の議長、書記を下松市内の支部の持ち回りを県内支部に拡げてはどうか。

また、会館の冷暖房やパソコンなども更新したいと思います。

出来る事項から実行に移したいと思います。

現在理事会で3部会あり、その一つ調査・研究委員会があります。この会は財政基盤の充実を目標にしています。今回会員同士でビジネス情報の交換が出来るシステムを考えています。退職され、まだ十分仕事も出来る人が多く仕事があればと望む人も多し中、需要もあります。工業会として下工ビジネス・ネットワーク略して、BNWとして発足させ、会員の登録を呼び掛けたく思っています。

内容は、自分の得意分野、技術、資格等々です。同窓生で中小企業のオーナーも沢山おられます。活用していただきたく思います。(関連記事12ページ)

平成23年には母校90周年になり昨年から準備に入っています。記念事業としては今回文化面に力を入れ、世界的に有名な方の講演を企画しています。

1. 記念講演
2. 母校の図書の実施
3. 記念募金目標 ￥5,000,000

皆様方の御協力よろしくお願い致します。

工業会館建物も今後どうすべきか、検討する時期になって来ました。今の土地に立て替えるか、隣と共同で建てるか、又スポンサーに貸すとか方法はいろいろあります。会員の皆様方でよい案があれば、本部事務局迄お願いします。今年も理事役員頑張ってください。





## ものづくりと 人づくり

校長 藤 井 博 明

工業会の皆様方には、本校教育の発展に御理解と多大な御支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。また本校卒業生16,925名の皆様が、永い歴史の中で築かれた強い絆のもと、様々な分野で御活躍されていることに、改めて深甚なる敬意を表します。本年度は創立86周年に当たります。皆様が築かれた校風は今日に引き継がれ、生徒は活力に満ちた学校生活を送っております。

さて御承知のとおり、我が国は大きな転換期を迎えており、人づくりや教育の重要性が高まっております。本県では高校の再編統合、学校評価、教職員評価等、各種の新しい取り組みが始まっております。本校においても県の教育ビジョンに沿って、「一人ひとりの夢の実現」に向けた、様々な取り組みを進めております。

2007年度問題と言われるように産業の現場では、熟練技能者や技術者の大量定年が始まっております。少子化の中でいかにこれまでの技術立国を継続するか、優れたものづくり人材の育成が国の急務とされております。

工業教育で、今、中心になることは「ものづくりを通じた人材育成」があります。学科の学習内容に合わせた「高校生ものづくりコンテスト」が盛んに開催されるようになりました。本校は、昨年度、3

部門（「旋盤作業」、「電子回路組立」、「化学分析」）の高校生ものづくりコンテストに参加し、何れの部門も上位に入賞し、中国大会へ出場しております。

本年度は全国大会への出場が課題となります。

定時制の生徒は、科目「課題研究」で、手こぎイカダを製作し、H18笠戸マリニイカダレース大会に出場し、デザイン部門の3位を獲得、2年連続の上位入賞となりました。

次に、昨年度の進路は、好調な求人に支えられ、就職希望者が増える傾向にありました。進路状況は、就職84%、進学16%で、就職者の82%が県内に職を求めることができました。少子化の中、企業の人材確保が進むことに加え、先輩諸氏があらゆる事業所で活躍されて後輩の道を確保していただいたおかげだと感謝しております。

さらに、部活動では、昨年度、ハンドボール部、弓道部、柔道部(定時制)が全国大会に、またハンドボール部、剣道部、水泳部、登山部、弓道部が中国大会に出場しました。秋の高校選手権大会では、各部が上位の成績で活躍し、男子が総合成績3位に入賞しました。他に、良好な出席状況(年間皆勤率47%)、高い資格の取得率(ジュニアマイスター顕彰全国30位以内)等があります。

工業会の皆様が築かれた気風を引継ぎながら、「愛と正義」の校是のもと、21世紀の時代をたくましく生きぬく人材の育成に本年度も全力を尽くしたいと考えております。

今後とも変わらぬ御支援をお願い申し上げ、工業会の御発展、皆様方のさらなる御活躍を心から祈念いたします。



開校時の本館



現本館

# 平成19年度定時総会報告書

## 記念講演

議事に先立ち、三歳産業(株)社長 荒谷実貴男氏（C22）が、創業57年の「根性人生と勝つ経営」と題して記念講演を行った。荒谷氏は57年間携わった会社経営の経験を元にして、成功の秘訣は何事にもチャレンジ精神で前向きに生きる事が人生運柵むとの話があり、大変感銘を受けたしだいです。会員の皆様も熱心に聴講されていました。

## 定時総会

### 1. 開催の日時及び場所

平成19年5月19日（土）14時～15時30分  
下松市大字西豊井1247番地（下松駅南）  
きらぼし館「きらぼしホール」

### 2. 会員の現在数

10,911人	
出席会員数	2,033人
うち出席者	139人
書面議決者	1,894人



講演中の荒谷実貴男氏

### 3. 議 事

- 1号議案 平成18年度 事業報告
- 2号議案 平成18年度 決算報告並びに監査報告
- 3号議案 平成19年度 事業計画（案）
- 4号議案 平成19年度 予算（案）

議事録署名人	化学工業科	28年卒	弘実 法造
〃	機 械 科	34年卒	藤井 実芳
書 記	化学工業科	平成元年卒	井内慎一郎

### 4. 総会の経過

#### 1) 議長選出

議長は下松支部武居英春氏（M47）が選出された。

#### 2) 議事録署名人並びに書記指名

武居議長、定款28条により左の者を指名した。

### 3) 議事の経過の概要

1号議案と2号議案は関連するので、一括して提案。西林伸治監事が監査報告し満場一致をもって承認可決された。

3号議案と4号議案も一括して提案の上満場一致をもって原案どおり承認可決された。





1号議案 平成18年度事業報告

1. 主要事業

(1) 新店舗入居（平成19年3月1日開店）店名「ソリッヅ」

旧グレルの店長体調不良のため閉店（10/31）

(2) 組織の充実と強化

- ・ 定時総会（5/20、143名、笠戸ハイツ）  
12支部総会の出席
- ・ 拡大役員会の開催（5/9、28名。12/5、35名）
- ・ 周南支部設立総会（11/25）への支援
- ・ （社）下松工業会に対するアンケートの実施 190名
- ・ 在学生（母校の）に会報（37号）の配布を開始 510部
- ・ 同窓会入会式（2/28）、新入会員 164名
- ・ 育英奨学金事業再開 2名 交付

(3) 広報活動の充実

① 会報の充実

- ・ 会報No37号発行（7/13、10,545名）  
くだまつ再発見、変わりゆく新町並み紹介

② ホームページの充実

- ・ バナー広告開設 6社契約

(4) 文化、レクリエーション活動

- ・ 定時総会で講演会の実施：工学博士 神田勝美 C31「人生ものづくり」
- ・ 第15回七彩ゴルフ大会（56名、10/13）  
麻雀大会（24名、2/4）  
親睦ボーリング大会（58名、3/6）の実施

(5) 調査研究委員会の開催

① 会費及び会館収益向上のための方策検討

- ・ 前年度に引き続き会報は全会員に発送し、会費納入の啓蒙に努めた。
- ・ 会館をカルチャーセンターとして活用について検討（継続中）

② 財政向上のための事業への取り組み

- ・ 下松散歩原画展開催

(6) 90周年記念募金の開設

平成23年10月に母校が創立90周年を迎えます。毎年積立を開始

2号議案 平成18年度決算報告並びに監査報告

1. (社) 下松工業会 会計決算書

（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

収入総額 ￥6,878,235

支出総額 ￥6,825,013

差引残高 ￥ 53,222（翌年度繰越金）

収入の部		(単位：円)		
項	目	予算額(A)	決算額(B)	増(B-A)減
同窓会収入		3,297,388	4,131,349	833,961
	入会金	855,000	820,000	△35,000
	年会費	2,200,000	1,867,926	△332,074
	運営基金	0	596,000	596,000
	その他の収入	242,388	847,423	605,035
工業会館収入		3,102,106	2,696,069	△406,037
	使用料	1,250,506	998,769	△251,737
	賃貸料	1,851,600	1,697,300	△154,300
雑収入	雑収入	4	315	311
前年度繰越金	繰越金	50,520	50,502	0
合	計	6,450,000	6,878,235	428,235

支出の部		(単位：円)		
項	目	予算額(A)	決算額(B)	増(A-B)減
会務運営費		2,870,000	3,574,209	△704,209
	人件費	200,000	200,000	0
	会議費	150,000	147,761	2,239
	旅費	180,000	138,850	41,150
	慶弔費	120,000	135,000	△15,000
	会報費	500,000	470,952	29,048
	通信費	750,000	745,129	4,871
	事務費	250,000	290,997	△40,997
	行事費	150,000	184,192	△34,192
	基金	500,000	1,200,000	△700,000
	表彰費	20,000	20,000	0
	記念品料	50,000	41,328	8,672
会館運営費		3,420,000	3,090,804	329,196
	人件費	1,650,000	1,650,000	0
	共済費	30,000	35,616	△5,616
	公租公課	400,000	355,200	44,800
	保険料	45,000	42,900	2,100
	電話料	270,000	166,775	103,225
	電気料	400,000	357,073	42,927
	上下水料	50,000	19,212	30,788
	ガス料	50,000	43,280	6,720
	需用費	150,000	142,600	7,400
	営繕費	200,000	151,798	48,202
	委託料	175,000	126,350	48,650
予備費	予備費	160,000	160,000	0
翌年度繰越金	繰越金	0	53,222	△53,222
合	計	6,450,000	6,878,235	△428,235

2. 平成18年度基金会計決算書

（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

収入総額 ￥19,502,500

支出総額 ￥378,000

差額残額 ￥19,124,500（翌年度繰越金）

収入の部		(単位：円)		
科 目	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	増 (B-A)	減
前年度繰越金	17,721,566	17,721,566		0
繰 入 金	500,000	1,200,000	△700,000	
雑 収 入	278,434	580,934		302,500
合 計	18,500,000	19,502,500		1,002,500

支出の部		(単位：円)		
科 目	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	増 (A－B)	減
育英奨学金	168,000	168,000		0
会館維持費	1,000,000	0		1,000,000
基 金	17,332,000	210,000		17,122,000
翌年度繰越金	0	19,124,500		△19,124,500
合 計	18,500,000	19,502,500		△1,002,500

3. 特別会計

90周年記念事業積立金（翌年度繰越金）

￥1,043,874

## 監査報告

平成18年度下松工業会会計、基金会計、特別会計について関係帳簿及び証拠書類を照合監査した結果、正確かつ適正であることを認めます。

平成19年4月6日

社団法人下松工業会 監事 西林 伸治  
監事 松本 勇  
監事 石田 和久

## 3号議案 平成19年度事業計画

### 1. 組織の充実と強化

- (1) 既存支部の充実を図ると共に、支部のない地域での支部発足を目指す。
- (2) 学年幹事の懇親会の開催並びに女性部会発足について検討する。
- (3) 引き続き意識調査としてのアンケート調査を実施する。

### 2. 広報活動の充実

- (1) 会報No.38号発行、会報は従来通り1年に1回の発行とするが、会員交流の場として親しみやすくなるよう更に工夫をする。
- (2) ホームページはコミュニケーションの場として、更に充実を目指す。

### 3. 文化、レクリエーション活動

記念講演は引き続き行い、会員のニーズに沿ったものを実施する。ゴルフ、ボーリング、麻雀大会は引き続き実施する。

### 4. 調査研究委員会の開催

安定収入の実現に向けての取組み

### 5. 90周年記念事業（平成23年10月）

- ・記念講演（平成23年度内の開催）
- ・母校の図書の充実
- ・記念募金目標 5,000,000
- ・記念式典・懇親会

### 6. 会館の設備更新

- ・会館の冷暖房設備の更新と事務備品等の充実を図る

## 平成19年度基金会計予算書

収入の部 (単位: 円)

科 目	予 算 額	摘 要
前年度繰越金	19,124,500	
繰 入 金	500,000	工業会会計より繰入金
雑 収 入	279,500	公社債予想利息 預金利息 名簿 寄付金
合 計	19,904,000	

支出の部 (単位: 円)

科 目	予 算 額	摘 要
育英奨学金	168,000	月額7,000 交付予定者2名
会館維持費	2,410,000	空調設備・パソコン・リコピー等
基 金	17,326,000	育英奨学金基金 文化体育基金
翌年度繰越金	0	
合 計	19,904,000	

## 3. 特別会計

### 90周年記念事業積立金

平成18年度積立金残高 1,043,874  
平成19年度積立額（目標額） 1,000,000  
平成20年度繰越額 2,043,874

## 4号議案 平成19年度予算

### 1. 平成19年度（社）下松工業会会計予算書

（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

収入の部 (単位: 円)

項 目	予算額(A)	前年度決算額(B)	増(A-B)減
同窓会収入	3,324,668	4,131,349	△806,681
入 会 金	815,000	820,000	△5,000
年 会 費	1,700,000	1,867,926	△167,926
運 営 基 金	570,000	596,000	△26,000
その他の収入	239,668	847,423	△607,755
工業会館収入	3,102,106	2,696,069	406,037
使 用 料	1,250,506	998,769	251,737
貸 貸 料	1,851,600	1,697,300	154,300
雑 収 入	4	315	△311
前年度繰越金	53,222	50,502	2,720
合 計	6,480,000	6,878,235	△398,235

支出の部 (単位: 円)

項 目	予算額(A)	前年度決算額(B)	増(A-B)減
会務運営費	3,055,000	3,574,209	△519,209
人 件 費	270,000	200,000	70,000
会 議 費	150,000	147,761	2,239
旅 費	180,000	138,850	41,150
慶 弔 費	185,000	135,000	50,000
会 報 費	500,000	470,952	29,048
通 信 費	750,000	745,129	4,871
事 務 費	300,000	290,997	9,003
行 事 費	150,000	184,192	△34,192
基 金	500,000	1,200,000	△700,000
表 彰 費	20,000	20,000	0
記念品料	50,000	41,328	8,672
会館運営費	3,265,000	3,090,804	174,196
人 件 費	1,600,000	1,650,000	△50,000
共 済 費	40,000	35,616	4,384
公 租 公 課	380,000	355,200	24,800
保 険 料	45,000	42,900	2,100
電 話 料	200,000	166,775	33,225
電 気 料	400,000	357,073	42,927
上 下 水 料	50,000	19,212	30,788
ガ ス 料	45,000	43,280	1,720
需 用 費	150,000	142,600	7,400
営 繕 費	200,000	151,798	48,202
委 託 料	155,000	126,350	28,650
予 備 費	160,000	160,000	0
次年度繰越金	0	53,222	△53,222
合 計	6,480,000	6,878,235	△398,235

◎総会へ出席されなかった方で、総会資料を希望される方は、事務局まで御一報下さい。お送りします。

# 総会アラカルト







## 下松駅周辺



南口



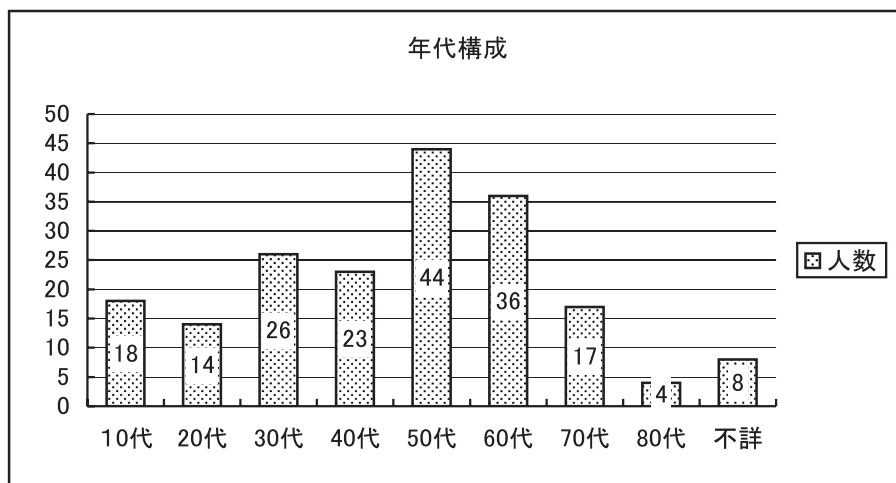
北口



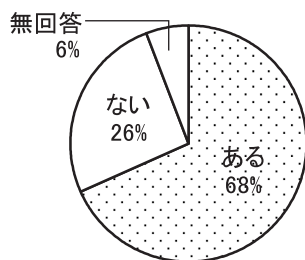
## (社)下松工業会アンケート集約結果

昨年度実施しましたアンケートを集約、任意リストアップ190名の中からサンプルとして掲載しました。会員の皆様方から頂いた意見等を、今後の活動に活かしたいと思います。

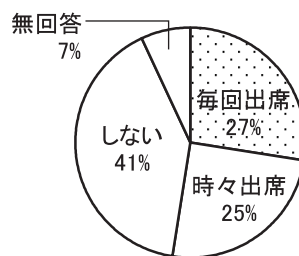
年代	人数
10代	18
20代	14
30代	26
40代	23
50代	44
60代	36
70代	17
80代	4
不詳	8
合計	190



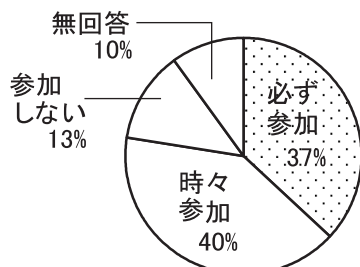
### 1、工業会の活動に関心がありますか



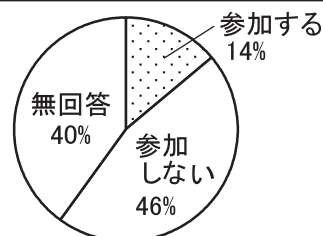
### 2、クラス会が開催されたら出席しますか



### 3、所属支部の活動に参加していますか

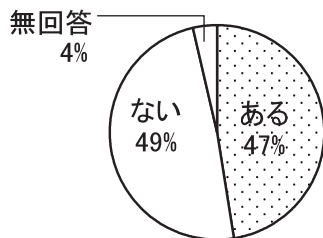


### 4、周南地区の方々に、本部での委員会に幹事としてお願いすれば参加活動して頂けますか

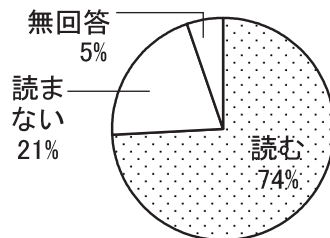




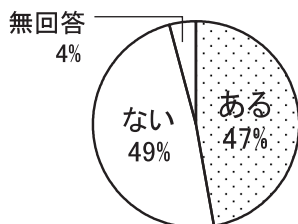
5、工業会館事務所を訪ねたことがありますか



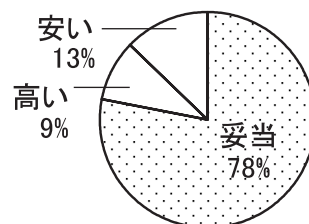
6、毎年郵送される工業会報を読みますか



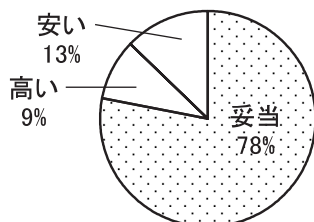
7、定時総会、ゴルフ・ボーリング大会に出席、参加したことがありますか



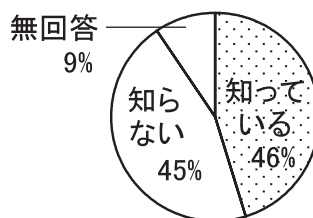
8、定時総会、ゴルフ・ボーリング大会参加料金の妥当性について、どう思われますか



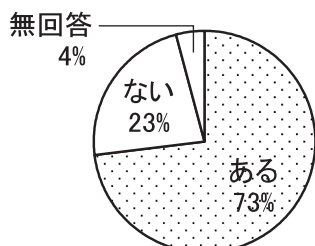
9、工業会年会費の徴収金額1,000円の妥当性について、どう思われますか



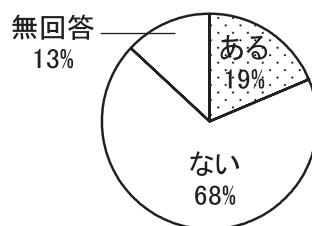
10、工業会館は会員の他に、一般の方でもご利用できることをご存知ですか



11、インターネット接続パソコンをお持ちですか



12、工業会ホームページの内容を拝見したことがありますか



本年度も引き続き、アンケートを実施しますので、御協力よろしくお願い致します。

組織・行事企画委員会

## 母校だより

### 【全日制】

18年度末の異動により、長期社会体験研修を受けていた定時制の教頭をはじめ5名の教職員が転出いたしました。そして4月10日には160名の新入生を迎えることができました。

また、PTAでは5月の総会にて会長に昨年に引き続き村上正則氏が、副会長には田村佳明氏、中村由佳里氏が、監査には河本美和子氏、穂山典子氏が選出されました。

学校の近況をお知らせいたします。

学校運営面においては、学校評価（内部評価、生徒や保護者による外部評価、生徒による授業評価）が実施され、また、教職員の評価も試行として18年度、19年度と実施されています。更に学校評議員（外部の方5名）による評価も受けることとなりました。厳しいご意見に対しましても真摯に受け止め、学校教育の改善に繋げ、さらに伝統ある高い質の下松工業高校の教育を目指していきたいと思っています。

学習面においては、基礎学力を補うためのステップテストを昨年より実施していますが、漢字能力検定において前年度までになかった高い合格率を生む結果となりました。また、生徒の課題研究の発表19年2月16日に本校体育館にて地元の企業の方や中学校（教員、生徒、保護者）にご覧いただき、好評でした。そして昨年1年間の皆勤（欠席、遅刻、早退が1回もない）生徒数が学校全体の49%と約半数であったことも快挙でした。

さて今年度は文部科学省、経済産業省共同事業『ものづくり人材育成のための専門高校・地域産業連携事業（略称：クラフトマン21）』の指定を受けることとなりました。これはものづくりを支える将来の専門的職業人及び地域産業界のニーズに応じた職業人の育成を実現するため、専門高校と地域産業界が連携したものづくり人材育成のためのものです。今後色々な場面で地域の同窓の方のお世話になることが多々あるかと思いますが、後輩の育成のため是非ご協力をお願い致します。

部活動においては、昨年度の結果は表の通りですがやはり選手権男子総合の部第3位と弓道部個人全国第2位が大きな話題となりました。総合3位はまさにすべての部の日頃からの努力の成果と喜んでいます。現在、各部とも6月からの県高校総体に向け

て各部一層の練習に励んでいるところです。すでにハンドボール部は中国大会県予選で優勝し、剣道部も個人1位、団体3位の結果を、バスケット部も県5位という結果を残しております。

また昨年度より、ものづくりコンテストの県大会が本格的に始まりました。結果は表の通りです。各科共どのコンテストや競技会においても上位を独占する快挙となりました。またマイコンカーにおいては念願の全国大会（北海道）出場を2年生が果たしてくれました。今年度こそは全国で上位入賞を目指し、すでに始動しているところです。

今年度もものづくりコンテストは5月から7月末に実施する予定です。頑張ります。

### 部活動及びものづくりコンテスト等の主な成績 (平成18年4月～平成19年3月)

<b>【部活動】★県選手権大会男子総合の部 第3位★</b>	
〈運動部〉全国大会	☆弓道部（高校選抜大会個人2位） ☆ハンドボール部（高校総合体育大会出場）（国民体育大会6名出場）
中国大会	☆ハンドボール部（団体優勝2回） ☆弓道部（個人1位、団体4位） ☆剣道部（団体・個人2回出場） ☆登山部（団体4位） ☆水泳部（個人2名出場）
〈文化部〉全国大会	☆写真部（高校総合文化祭出品）

### 【ものづくりコンテスト等】

- ◎電子回路組立部門（情報電子科出場）県大会1位、中国大会7位
- ◎旋盤作業部門（システム機械科出場）県大会2位、中国大会3位
- ◎化学分析部門（化学工業科出場）県大会1,2位、中国大会2,3位
- ◎溶接競技大会（システム機械科出場）優秀賞
- ◎ものづくり匠の卵技能競技大会（システム機械科出場）旋盤職種…最優秀賞  
溶接職種…優秀賞
- ◎県ロボット競技大会…ベスト8（ベストデザイン賞）
- ◎ジャパンマイコンカーラリー中国大会（情報電子科出場）上位入賞…全国大会出場

### 【進路状況】

今春卒業した生徒の進路状況は下記の表の通りですが、製造業の好調さもあり、求人数が昨年度を遙かに超え、800人を増え、求人倍率も6倍を超える状況になりました。県内求人数も増加しており、就職者数は全体の85%、その80%が県内企業に就職す

ることができました。これも同窓生、諸先輩のこれまでのご活躍、ご努力のお陰と心より感謝いたします。また学校においても進路指導の一環としてキャリアセミナーやようこそ先輩事業など同窓の方々の体験をもとにした貴重な講話を伺うことのできる事業を実施していますのでその折りは宜しくお願い致します。

最後になりましたが、今まで以上に社会に有為な人材を輩出していきたいと思っておりますので、今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

#### 進路状況 (平成19年3月卒)

区 別	システム機械	電子機械	情報電子	化学工業	合 計	%
卒 業 者	38	40	40 (4)	39 (8)	157 (12)	
進 学	大 学	3	4	3	2 (1)	12 (1)
	短大・高専	0	0	0	0	
	専門学校等	3	4	4 (1)	2	13 (1)
	そ の 他	0	0	0	0	
	合 計	6	8	7	4 (1)	25 (2)
就 職	企 業	31	32	33 (3)	34 (7)	130 (10)
	公務員等	1	0	0	1	2
	合 計	32	32	33 (3)	35 (7)	132 (10)
他	その他未定	0	0	0	0	0

( ) 内は女子生徒

#### 【定時制】

今春の卒業生は7名でした。うち新規就職者は5名、進学1名、自営業1名となっています。製造業の好調が追い風となって、全員が希望の進路に就くことができました。この結果は在校生の励みともなっています。生徒もよく努力しましたが、先輩の皆様方のご活躍のお陰もあり、感謝しております。

今年度は1年11名、2年6名、3年7名、4年6名、計30名(内女子3名)で新学期をスタートしました。部活動では軟式野球部、柔道部、卓球部とも、6月9日の全国大会山口県予選会に向け、練習に励んでいます。特に軟式野球部は毎日遅くまで練習を重ね、全国大会出場を目指して頑張っています。昨年度は野球部は中国大会まで進み、柔道部も全国大会で個人2位の好成績を残しました。今年度も引き続き良い成績が残せるものと信じています。

定時制でも資格取得の指導に力を入れており、生徒の意識も高くなりました。放課後に課外授業を行って受験対策をしています。また、毎年8月に開催される「笠戸島マリンいかだレース」には4年生が課題研究で製作した筏で参加しています。過去2年連続「デザイン部門」で入賞しました。テレビ局か

ら独占取材を受け、番組で紹介されましたので「ものづくりの学校」として本校定時制の存在を地域の方々により詳しく知って頂くことができたと思います。

## 柳井支部20年のあゆみ

柳井支部 事務局 M42 有 永 房 夫

柳井支部は総会を、毎年「2月の第4土曜日」定例化して行なっております。支部の会員は、市内在住の同窓生。市内に勤務する同窓生。近隣に在住する同窓生および市内より通学していた同窓生を対象に、会員の親睦を図ることを目的にしております。



昭和62年の2月に第3回総会を開催して以来、今年で満20年が経過いたしました。ここ最近は案内状発送だけで、34～35名前後の方から出席のお返事が戴けるようになりましたが、定例化当初は10名前後の出席者でその内半数が幹事と言う状況であり、総会の1週間前頃の夜に幹事宅に集合し、電話攻勢で何とか20名前後まで増員する状態が数年続きました。

会の運営で苦勞するのはやはり「運営費」です。いつも赤字続きの運営で苦しんでおりましたが、総会資料に広告を掲載「一区画＝一万円」でスポンサーを募り何とか黒字運営が可能になりました。スポンサーのご協力が20年継続できた大きな要因であることは間違いありません。いつもスポンサーの皆様感謝しております。

総会の内容ですが、会員の親睦を図る目的で懇親会が主体です。その中で平成2年の総会より出席者の3分間スピーチ(自己紹介、近状報告等)を開始しました。最近ではジャンケン大会等のイベントで1分間スピーチになりましたが18年継続して行なっております。また、平成5年の総会よりジャンケン大会を開催し現在に至っております。ジャンケン大会開始当初の賞品は商品券でしたが、スポンサーから自転車(優勝者)とラン(準優勝)のご提供を戴き





毎回参加者同士で熱くなってジャンケンをしています。近頃は出席者の方からも賞品を色々持参して頂ける様になり賞品も豊富になりました。総

会出席者の1/3～1/2の方々賞品を獲得されてお帰りになる状況です。

また、近年の総会には平成10年代卒の参加者も確認されるようになりましたし、平成2年卒の方も幹事に加わっていただきました。これで少しではありますが会全体の若返りに、一つの道しるべが出来たと考えております。懸案の女性会員の参加も平成10年の初参加以来、断続的に参加していただいております。今後は複数の参加が図れるような対策必要な状態と認識しております。

最後に、前述した柳井支部会員の範囲ですがあくまでも建前であり、総会に参加ご希望の方は住所、勤務先等を問いません。お気軽にお申し出下さい！

## 工業会会員の参加による 「事業化機会の推進」ネットワーク発足

——— 下工BNWプロジェクト ———

C40 栗 田 一 郎

ビジネスネットワーク（BNW）の趣旨を、紹介します。

工業会には多くのオーナー経営者がいらっしゃいますが、皆さん生産コストダウン、販路拡大、新商品開発などを考えておられます。また、今後、企業を退職されてフリーになる方が、毎年200人発生します。彼らは実に豊富な技術、知識を持っていますが、退職後にそれらを活用できる機会は、意外に少ない状況にあります。

BNWは、このような会員のニーズ情報とシーズ情報を「お見合」させて、新しい事業化機会を作るための組織です。BNWの詳しい内容は、同封資料の通りです。また工業会のホームページでもご覧になれます。あなたのご参加をお待ちしています。

## 本 部 行 事

### ゴルフ

### 第15回七彩会ゴルフ大会

平成18年10月13日(金)  
白須那カントリークラブ



参加者 54名  
優勝 C37 鮎 谷 算 鴻

### マージャン

平成19年2月4日(日)  
下松工業会館



参加者 25名  
優勝 C44 藤 村 秀 行  
(写真前列左から2人目)

### ボウリング

平成19年3月6日(火)  
くだまつスポーツセンター



参加者 58名  
優勝 M38 相 本 康 雄

# 周南支部発足

周南支部長

C44 山本 哲夫

昨年11月25日に発足式並びに第1回総会をグラマシーにて行いました。本部から会長をはじめ役員の方々、企業支部、地域支部関係者をお招きし盛大に催すことができました。周南市合併により旧鹿野町、旧新南陽市、旧徳山市在住の同窓生から支部会員を募り、44名の会員で発足し当日24名出席のもと私が支部長に選任されました。企業支部会員を除いても1500名弱の同窓生が、旧2市1町に在住しております。もちろん他市に住んでおられる方も歓迎です。企業支部OBの方、Uターンで帰られた方も支部に入って戴き、会員増を図りたいと思っています。



## 魅力ある支部にするために

支部の目的は、あくまで会員の親睦です。先輩、後輩、世代を越えての交流ができます。また地域支部なので異業種交流の場でもあり、何らか得るものもあると思っています。



他の支部との合同懇親会の案もございます。巾広い交流も楽しみですし、イベントにも積極的に協力したいと思っています。周南支部の運営にご協力の程、お願いいたします。

## 第2回総会のご案内—お問い合わせは本部事務局

- と き 平成19年10月20日 (土)  
15時～ (総会後懇親会)
- ところ ザ・グラマシー
- 会 費 6,000円 (懇親会費、支部会費含む)

# 下松散歩原画展

川口 健 治 画

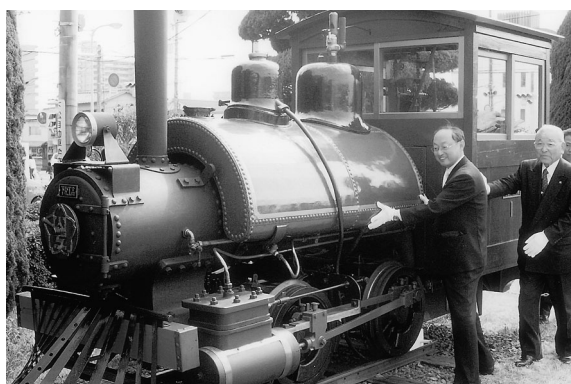
下松市交流センターが平成18年11月に竣工され、イベントの1号として開催の運びとなった。

川口健治先生による下松市のスケッチ画集の発刊に合わし、画家の目によって下松市の歴史のある神社仏閣や懐かしいふる里の風景、街並み、楽しい市民の集いなどが、水彩によるやさしいタッチでリアルに表現されていた。400余名の来場者があった。



# 下工弁慶号、 100歳おめでとう

三重県阿下喜から3年ぶりに里帰り。今年で生誕100年（1907年石川島播磨重工業製）になります。平成19年7月10日から9月9日迄大鉄道博覧会に登場します。場所は江戸東京博物館です。



里帰りの弁慶号（新周南新聞提供）

## 社会人になって思うこと

### MH19 棟 近 康 平

社会人になって思うことは、高校生の時とはちがいは自由は増えたと思いますが、自分に掛かる責任は重くなったと感じています。

あいさつの声も大きな声でしないといけないし、礼儀もきちんとしてないといけないので大変だと思いました。

土・日曜日は自分の時間が増えたとし、最初の給料も入ったのですが、無駄使いはしたくないので使い道には悩みます。無駄使いはしたくないと思う気持ちは、自分が働いて得たお金だからなのでしょう。

また3月には車の運転免許も取れたので、会社に車で通えるようになっても、まだ初心者運転手なので交通事故には十分気をつけたいと思います。交通事故を起こすと、自分も相手の人も悲しい思いをするので安全運転を心がけたいです。

高校生活ではクラブ活動で定期的に体を動かすことができましたが、社会に入ると運動する時間と場所が少ないことに気付きました。高校時代は体育館やグラウンド、プールもありましたが今はそのような物はありません。

運動はこれからもしていきたいです。

### MH19 山 本 章 史

入社してもう2ヶ月が経ちました。初めて現場という場所を工場見学した時は、どこも緊張感があって、とてもたいへんだなあと思いました。それから少しずつ特別教育などが始まって、なかなか学生気分から社会人気分になり切ることができませんでした。しかし、5月に行った消防学校ではとても厳しく団体行動、規律訓練について教わり、これから将来会社でやっていくための基礎ができたのではないかなと思いました。学生時代とは違い、ダラダラした生活をしていると会社ではやっていけないとこの2ヶ月間の導入教育で学びました。

これから各部署に配属されると、各部署の仕事内容やその仕事の安全作業要領を一日でも早く覚えたいといけません。少しずつ確実に覚えるために日頃から体調管理をしっかりして、一つでも多く社会に貢献できたらいいなあと思っています。

### IH19 井 上 雅 博

私が社会人になって学生のころと一番変わったと思うことは、自分でお金を稼げるようになったということです。

今までの18年間、高校の時に少しだけバイトをしたこともありましたが、それ以外では一度も自分でお金を稼いだことがなく、両親が仕事をして稼いだお金で生活していました。そのことを当たり前のように思っていたのですが、今年の3月16日から仕事が始まり、自分で仕事をしてお金を稼ぐようになり、お金を稼ぐということの大変さを身をもって体感しました。今まで何不自由なく育ててくれた両親には、本当に感謝しないといけないと思いました。これからは、自分で働いて稼いだお金で両親に旅行でもプレゼントしてあげられるように、頑張って仕事をしたいと思っています。

### IH19 峯 重 徹 也

私はこの春から社会人としてデビューしました。学生からいきなり社会人になって不安や心配になる事はたくさんありました。仕事はどのようなことをして、ちゃんとやっていけるだろうかとか、たくさんある仕事内容を覚えていくことができるだろうかと思いました。

また、先輩や知り合いのおじさんなどからは絶対に人間関係をしっかりしていけと言われてました。確かにこれから何十年間も仕事をしていく中で、仲が悪いまま仕事をしててもやりにくいし、良い結果も出せないと思います。

入社して早2ヶ月が経ち、考えていた不安はいくつか消えました。上司や先輩はみなさん優しく接してくれてとてもおもしろい人達ばかりです。これなら人間関係も心配することなく上手にやっていけそうだと思いました。また先輩は仕事は早く覚えた方がいいが、1日2日で覚えられるわけではないのでゆっくりで良いと言われていました。早く一人前となって働けるようしっかり勉強したいと思いました。

これから立派な社会人になるには長く時間がかかるとはありますが、しっかり自分の考えを持ち、だれからも信頼され頼られる社会人になっていきたいと思っています。



## CH19 戸 崎 高 志

今年、化学工業科を卒業し、社会人の仲間入りをさせて頂きました。よろしく願い致します。

会社での教育プログラムに準じてご指導頂き、ここでの日々、痛烈に思いましたのは、自分の甘さでした。

同じ新入社員の中での自分の無力さにも気付かれ、家に帰り反省し、思い改め出勤し、また落ち込む日が続いておりました。

配属先が決まり、危険物を取り扱う上での注意事項や事故の恐ろしさを勉強させて頂いている内、自分にそのような仕事出来るのかと不安が増すばかりでした。

しかし、指導してくださる先輩方や恩師の西本先生の顔や親の顔を思い浮かべる度、早く一人前になって共に歩める日が来ることを願うようになりました。

最初の歩みはのろいかもしれません。時には足を止めて引っ張って頂くことがあると思います。若さと気力ですが、必死で追いつくつもりですから温かい気持ちで導きくださるようお願い申し上げます。

最後になりましたが、下松工業会の一員に入れて頂き、何の力もない私ですが、どうかよろしくお願い申し上げます。

## CH19 矢 野 正 義

つい最近まで学生として悠々自適な生活を送っていましたが、今こうして働いていると高校の時はよかったと思うようになりました。会社に入れば勉強する事はないと思っていましたが、高校の時以上に多くの事を時間をかけて学ばなければいけないんだと痛感しました。会社ではまだまだ見習いですが、これから自分の職場での役割を理解して少しでも早く仕事を覚えていきたいと思っています。

### 平成18年度学年別幹事

組	氏 名	勤 務 先
M	棟近 康平 山本 章史	日新製銅 日新製銅
S	嶋田 和晃 藤本 優一	東ソー(株)南陽事業所 (株)日立製作所笠戸事業所
I	井上 雅博 峯重 徹也	(株)トクヤマ 東ソー(株)南陽事業所
C	戸崎 高志 矢野 正義	東ソー(株)南陽事業所 (株)トクヤマ
M4	花本 公輝	(株)徳 機

## 謹んでご冥福をお祈りいたします

社団法人 下松工業会

(平成18年度会報No.37号記載以降  
事務局に連絡があった方のみ)

### 正会員物故者

卒 年	氏 名	住 所
M 5	山田喜久馬	下松市
M 5	植杉 春雄	知多郡
M 6	五嶋 宗衛	広島市
M 8	三宅 励	大阪市
M11	藤井 吉郎	防府市
M14	波多野敬一	防府市
M15	鈴木 迺郎	周南市
M16	武居 幸男	下松市
M16	宮下 加一	神戸市
M16	伊藤 薫	下関市
M16	弘中 勝彦	下松市
M17	河野 定治	廿日市市
M18	吉武 治人	防府市
M19	菊原 勲	周南市
M20	椎山 昭二	下松市
M21	澄田 里二	下松市
M26	浅田 育雄	周南市
M27	田中 久光	名古屋市
M30	中村 隆樹	周防大島町
M39	田中 宏二	山口市
M44	藤内 万義	下松市
M45	岩本 修	下松市
C 3	常森 義男	防府市
C 8	海田 静夫	光市
C10	松村 英夫	宇部市
C15	今井 孝一	防府市
C17	戸倉 策磨	周南市
C17	相本 保人	周南市
C18	中野 和彦	周南市
C18	上原 勇	下関市
C20	中村 正	防府市
C20	神田 幸彦	下松市
C26	藤田 正	下松市
C29	国重 芳右	山口市
C29	大崎 敏正	周南市
C32	相本 忠重	下松市
C32	中村 二郎	下松市
C35	松村 芳之	羽曳野市
C37	真鍋 俊文	下松市
C40	石川 雅登	光市
C50	西村 博美	周南市
C51	河内久美子	柳井市
E46	市川 肇	周防大島町
IH18	田中慎太郎	周南市

### 特別会員物故者

	氏 名	住 所
社会	渡辺 基一	周南市
電気	利根川貞夫	周南市
電気	松室 陽一	下松市
機械	藤谷 勉	柳井市
機械	吉本 隆一	広島市
国語	石川 明	下松市

# 久原房之助翁の遺徳を偲びて

C33 上 田 敬 正

「ヒヨコ諸君よ」 有名な呼びかけから始まった翁の記念講演。米寿のお祝いの胸像建立と母校創立35周年記念式典でのことである。そして続けられた言葉が「気魄をもって進みなさい。胸像を見るにつけ、この気魄を喚起すればもって瞑するものであります。」翁が日本経済界、政界と大事業をなし遂げたのは「気魄」であった。その翁が母校を創立されるまでには様々な紆余曲折があった。

郷里下松湾岸に、ドイツのクルップ社、イギリスのビッカース社にも匹敵する理想的工業都市を建設するという夢のような計画を持っており、大正6年「下松計画」なるものを報道陣に発表した。その事は地元紙「防長新聞」が「久原氏が下松湾を利用、世界的大工場の計画」という見出しで大々的に報じた。160万坪の土地を買い占め、造船所を中心とする大工場を建て、工員とその家族ほか18万人を収容するという計画である。これが発表されると地元は興奮した。まず大地主矢島専平が買収に応ずることを了承し、つづいて下松町議会も「工場設置に関する件」を全会一致で可決した。

しかしこの計画は戦争という巨大な歯車によって久原房之助氏の夢は粉砕され、大正8年11月、下松町に工場を建設することができないことを謝り、特に末武南村には迷惑をかけ深い謝罪の意味で、将来有為の青少年に工業技術教育を受けさせようという意図で下松に工業学校を建設すべくその費用として33万円（現在価格で33億円）を寄附した。これが母校の創立と現在地にある由縁である。



又翁は経済界のトップに収まるに止まらず、政界にも大きな力を発揮し、立憲政友会総裁として政治にも携わった。中央政界は勿論ではあるが、郷里の政界にも深い愛情を注ぎ育成していった。そのひとつに大島郡区県議員候補の応援に度々立ち寄ったという。その人が「村田源三」氏で恩師市川先生の岳父にあたる人である。翁が村田氏の自宅に寄り、気軽に書いた孟子の一節の書が現存している。「雖千萬人、吾往矣」意識すれば「千万人といえども吾はゆかんと」この言葉は冒頭の翁の講演で「気魄を持って!!」に相通ずるものがあり翁の終生の信条であろう。この額は現在市川先生宅客間の欄間に掲額されてある。先生の奥様のご実家から、この額は市

川先生の所にあるのが一番ふさわしいとの配慮からであるというのも市川先生は翁が来校の時、当時大田校長から、下工卒業生であり教員として奉職していると紹介され「下松工業をよろしく頼みますぞ」と親しく声をかけられ、以来下松工業に骨を埋める覚悟をもったと聞いている。佐賀藩に古くから伝わる葉隠書に「もののふはおのれを知る人のみぞ死ぬ」の一文があるが、市川先生はまさにこれを地で行った方であり、教師社会の栄達を望まず、世俗の欲からも身を引き母校の発展と子弟の訓育にただひたすら打ち込んでこられた。これも武士道的強固な精神背骨がある故であろうか。

五月初旬、毎年開かれる化学二組（昭和33年卒）の同窓会を由布岳を望む温泉で行った。その席上ご多聞にもれず「今頃の若い者は……」との談議に花が咲いた。便利さを追い続ける若人は、便利さを追い求めるあまりに大事なものを失っていった。我々はその便利さについてゆくことが困難である。が、しかし、薄っぺらで食欲な若者であるより、気品と知恵のある熟年でありたい、すなわち俗悪な勝者より優雅な敗者を選ぼう。又若者に迎合する年寄りも若者に対する崇高な義務を果たさない人間と言えよう。と大方の意見が一致した。

人間の判断力にはその人の価値観、教養、情緒、経験などが凝集されている。「一人の命は地球より重い」とか「親孝行は古い」などと言っている若者に、千人の命を救うために自己の命を犠牲にすることは尊い行為であること。名誉は命と同様の重さを持つこと。卑怯は死に値するほどのものであること。親孝行は永遠の美德であること。年寄りはこのようなことを若者に自信をもって教えなくてはいけない。何故なら 翁の遺訓 市川先生をはじめとする大先達からのお教えを次に渡す意味合いで。伝統とはこのようなものである。

母校の後輩たちよ

「千万人といえども吾はゆかん」との気魄をもて!!



久原房之助伝 惑星が行く 著者 古川 薫  
発刊しております。紹介まで。

# 90周年記念行事基金御礼

下記の方々より、ご協力を頂きました。心より厚く御礼申し上げます。この募金は引続き募集いたしますので、何卒、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額
M8	齋藤 正明	2000	M25	弘中 辰男	2000	M31	小林 邦彦	2000	M36	中山 繁博	2000
M8	北村 佐一	6000	M25	濱田 吉樓	2000	M31	海田 英雄	2000	M36	永田 直行	2000
M9	中屋 正仁	10000	M25	小林 徹	10000	M32	吉村 良人	2000	M36	河口 烈	2000
M9	徳川 正義	2000	M25	小林 正	2000	M32	原田 利彦	2000	M36	吉野 喜義	2000
M11	中屋 雪男	2000	M26	松村 敏和	2000	M32	林 義男	2000	M36	浜田 孝	2000
M14	宝迫 一郎	2000	M26	松本 憲治	2000	M32	斉藤 正行	2000	M37	広津 正嗣	2000
M15	平岡 勝人	2000	M26	藤富 幹夫	2000	M32	田島 邦雄	2000	M37	中本 博	2000
M15	村實 明	2000	M26	温品 勝利	2000	M32	管 貞夫	2000	M37	木村 好晴	2000
M15	藤田 信昌	2000	M26	守富 慧	2000	M33	兼清 昇	2000	M37	青木 哲郎	2000
M16	藤田 恵	2000	M27	川端 修	2000	M33	原田 純	2000	M38	山岡 弘幸	2000
M16	小川 英夫	2000	M27	清水 誠	2000	M33	長迫 博	8000	M38	池永 文人	2000
M16	内山 悦治	2000	M27	山時 英男	2000	M33	山本 敏博	2000	M38	石川 公明	2000
M16	中岡 浩史	2000	M27	大木 満	2000	M33	石川 國夫	2000	M38	筒井 征史	2000
M16	橋本 三男	2000	M27	板村 強	2000	M33	広戸 一見	2000	M38	西村 忠夫	2000
M16	荒川 亨	2000	M27	鷺頭 秀吉	2000	M33	井川 清宏	2000	M38	中本 英雄	2000
M17	谷口 文男	2000	M27	兼清 恒男	2000	M33	河野 清	2000	M38	木下 嗣生	2000
M17	安達 信義	2000	M27	田村 英之	4000	M33	吉村昌三郎	2000	M38	弘中 勝利	2000
M17	近道 正美	2000	M27	有田 優	6000	M33	渡邊 勲	2000	M39	田村 泰公	10000
M17	石原 佳雄	6000	M27	浅本 宣之	2000	M34	山本 一雄	2000	M40	山本 敏夫	2000
M18	田村 克己	2000	M27	原田 二郎	2000	M34	宮本 照夫	10000	M40	山本 勝一	2000
M18	原田 務	2000	M27	丸山 晴康	2000	M34	浜本 正	10000	M40	堀 勝敏	2000
M18	田村 敬次	2000	M27	相本 晴信	2000	M34	久保田浩文	2000	M40	清木 幹生	2000
M18	三奈木 博	2000	M28	青木 昱秀	2000	M34	池本 幸一	2000	M40	清木 恒世	2000
M19	平岡孝次郎	2000	M28	戸村 武	2000	M34	石川 和男	2000	M41	船本 秀幸	2000
M20	白石 直人	2000	M28	野田 重延	2000	M34	西村 清	2000	M41	守田 達夫	2000
M20	相本 幸夫	2000	M28	藤元 正俊	2000	M34	板辺 年一	2000	M41	山根 和敏	2000
M20	加藤 清彦	2000	M28	有吉 説志	2000	M34	林 亨	2000	M42	長田 勝一	2000
M20	阿部 敏人	2000	M28	橋本 育茲	2000	M34	宮川 豊	2000	M42	玉井 正信	2000
M20	和田 住人	2000	M28	大川 洵	2000	M34	佐々木勝紀	2000	M42	皆本 彰	2000
M21	嶋田 隆雄	2000	M28	宇田 利男	2000	M34	黒田 義則	2000	M42	土谷 康夫	2000
M21	平山 昭	2000	M28	佐久田宸次	8000	M35	堀本 唯志	2000	M42	河村 達生	6000
M21	森本 茂	2000	M28	小林 逸男	2000	M35	藤井 忠彦	2000	M43	高畑 幸二	2000
M21	通山 幸彦	2000	M28	小川 莊六	2000	M35	安原 勝實	2000	M44	合田 利行	2000
M22	藤井 照己	2000	M29	足立 元	2000	M35	山縣 健治	2000	M44	蔵田 幸男	2000
M22	左海 孝之	2000	M29	青木 恵三	2000	M35	清木 一男	2000	M45	林 利美	2000
M23	菊原 俊明	6000	M29	鹿村 佳之	2000	M35	松重 晴臣	2000	M47	重田 祐二	2000
M23	清水 修	2000	M29	久保 知之	2000	M35	竹尾 輝秀	2000	M47	島崎 正利	2000
M23	須磨 祐一	2000	M29	久重 和章	2000	M35	常森 宣彦	2000	M47	笹瀬 泰男	2000
M23	近棟 昭久	2000	M29	井内 昭	2000	M35	岡村 二郎	2000	M51	門川 光宏	2000
M23	山田 信義	2000	M29	片山 忠義	2000	M36	田村 幸治	2000	M53	峯畑 敏行	2000
M23	河野 知敏	2000	M30	弘中 哲修	10000	M36	小川 博己	2000	M57	古村 敏彦	2000
M23	黒杭 三祐	2000	M30	岩本 光志	2000	M36	藤井 猛	2000	M57	青木 義雄	2000
M24	田中 正志	2000	M30	小林 信之	2000	M36	森比良繁雄	2000	M61	村瀬 俊治	2000
M24	和泉 友晴	2000	M30	原田 明	2000	M36	三原 一彦	2000	M61	中倉 清臣	2000
M25	岡村 信男	2000	M30	村松 巖根	4000	M36	山根 新治	2000	MH2	橋本 雅央	2000
M25	清水 利治	2000	M30	米田 嘉一	10000	M36	上田 祐三	2000	MH15	藤原 光治	2000



卒年	氏	名	寄附額	卒年	氏	名	寄附額	卒年	氏	名	寄附額	卒年	氏	名	寄附額
MH17	石子	進一	2000	C26	藤谷	智志	2000	C34	奥野	勲	8000	C39	今川	五雄	2000
MH18	洗川	史朗	2000	C26	山田	進	2000	C34	田中	攸一良	2000	C39	青木	堯	2000
C2	西川	清	2000	C26	末川	正満	2000	C34	奥村	フサ子	2000	C39	金近	弘子	2000
C9	河内	敏典	2000	C26	岡崎	治人	10000	C34	岡田	秀雄	2000	C39	守田	秀昭	2000
C12	金政	武雄	2000	C26	津田	睦夫	2000	C34	田浦	朝子	2000	C39	砂田	洋一	2000
C13	中谷	正	2000	C27	野中	耕一	2000	C34	山口	哲	2000	C39	丸山	喜三	2000
C15	奥野	耕平	2000	C27	西岡	忠	2000	C34	野末	育利	2000	C40	小林	孝二	2000
C16	林	岩夫	2000	C27	藤本	和也	2000	C34	中原	悠紀	2000	C40	二藤部	毅	2000
C16	國居	栄	2000	C28	弘実	法造	2000	C34	橋本	信之	4000	C40	有馬	久男	2000
C16	高橋	玄	2000	C28	藤田	敏之	2000	C34	藤田	圭子	2000	C40	河野	寿夫	2000
C16	山田	義人	2000	C28	岡本	行雄	2000	C34	土肥	敏郎	2000	C41	山本	晃	2000
C17	永見	直	2000	C28	山本	惇	2000	C34	佐伯	昇	2000	C41	重岡	哲夫	2000
C17	倉田	博	6000	C28	田中	忠	2000	C34	高濱	照彦	2000	C41	網永	俊彦	2000
C17	河本	年雄	2000	C28	清水	明彦	2000	C34	伊藤	良美	2000	C41	埴	輝男	2000
C17	明石	幸男	2000	C28	戸倉	文子	2000	C34	山本	田鶴子	2000	C41	竹内	和子	2000
C17	長井	稔	2000	C28	伊藤	洋子	2000	C34	小林	哲士	2000	C45	清水	和夫	2000
C17	木村	貞明	20000	C28	原田	金伝	2000	C35	岡本	正輔	2000	C45	吉田	利幸	2000
C18	増本	安男	10000	C29	下村	和美	2000	C35	松村	武士	2000	C45	反田	快舟	10000
C18	高藤	広夫	2000	C29	清水	博晴	2000	C35	岡	登志美	2000	C46	久野	隆弘	2000
C18	轟	渡	4000	C29	山本	宜詮	2000	C35	尾崎	肇	2000	C47	松原	正雄	2000
C18	吉原	正徳	2000	C29	岡	亮宏	2000	C35	宮野	光盛	6000	C48	木谷	豊	2000
C18	三浦	伝	2000	C29	中野	利明	2000	C35	岡本	栄伸	2000	C51	吉水	徹	2000
C18	山藤	朝之	2000	C29	近間	勝史	2000	C35	野本	紀久	2000	CH2	西	潤一郎	2000
C18	西村	茂樹	2000	C29	福永	幸子	4000	C35	門阪	俊二	2000	CH9	河野	宏昭	2000
C20	梅田	強平	2000	C29	川合	嘉彦	2000	C35	堀江	明	2000	CH10	新宅	陽一	4000
C20	大上	良一	2000	C29	河村	正弘	2000	C35	中村	光延	2000	CH13	山岡	幸宏	2000
C20	河畑	礼三	2000	C30	廣中	典夫	2000	C35	手嶋	正利	2000	CH17	水野	博彰	2000
C20	配川	敬典	2000	C30	友森	隆洋	2000	C35	中村	巖	2000	E38	小沢	学	2000
C20	坂本	博	2000	C30	原田	智	10000	C35	猫冲	眞治	2000	E38	沖本	義明	2000
C20	小西	守	4000	C30	佐藤	通	2000	C35	藤村	和夫	2000	E39	上田	順二	2000
C20	瀬尾	進	2000	C30	渡邊	秀夫	2000	C35	中山	哲男	2000	E39	實近	裕司	2000
C20	藤本	幸夫	2000	C31	相本	茂樹	2000	C36	土井	邦彦	2000	E39	井上	孝洋	2000
C21	上杉	良一	2000	C31	小笠原	奨	2000	C36	田村	晃三	2000	E42	山口	憲男	2000
C21	河村	幸治	2000	C31	佐藤	静江	2000	C36	松村	豪夫	2000	E42	林	巧	2000
C21	長田	豊	2000	C31	清木	元博	2000	C36	宮田	治美	2000	E45	大林	重信	8000
C21	武居	輝二	2000	C31	石田	惟昭	2000	C36	横道	忠	2000	E46	河本	滝美	8000
C21	河村	俊次	2000	C32	石丸	顕郎	2000	C36	山縣	峻	2000	E46	田中	敏昭	6000
C22	小野	幹夫	2000	C32	藤井	忠夫	2000	C36	守田	隆司	8000	E46	武居	正展	2000
C22	久行	由人	2000	C32	南	真作	2000	C36	清木	義晴	2000	E48	内山	能成	10000
C23	中山	秀夫	2000	C32	河村	一	2000	C36	浜谷	和昌	2000	E51	多田	光	2000
C23	河田	良平	2000	C32	福田	尚	2000	C36	山根	晃憲	10000	E59	佐野	誠	2000
C23	生中	太吉	2000	C32	小林	勝	10000	C37	中村	忠士	2000	EH3	福田	稔	2000
C24	中島	清登	2000	C32	中村	二郎	2000	C37	槻館	憲之	6000	EH5	近藤	誠	2000
C24	赤瀬	春之	2000	C33	藤井	敦	2000	C37	山本	正樹	2000	EH14	中山	直樹	2000
C25	渡辺	正文	2000	C33	萬徳	晴男	2000	C37	吉村	栄	2000	EH14	児玉	浩之	2000
C25	國永	忠士	2000	C33	高山	佳昌	2000	C38	大田	克正	2000	EH16	藤井	誉徳	2000
C25	武居	博	2000	C33	鑑光	博正	1000	C38	松村	匡登	2000	T40	大森	一範	2000
C26	田代	良也	2000	C33	小川	輝雄	2000	C38	吉松	洋治	2000	T42	大畠	裕治	2000
C26	上條	弘世	2000	C33	日野	保恵	2000	C38	新谷	一	2000	T46	三戸	七郎	2000
C26	藤井	保彦	2000	C33	石川	達紘	46000	C38	田中	秀雄	2000				
C26	渡辺	英男	2000	C34	足立	恵美子	2000	C39	仁科	昭行	2000				
C26	竹尾	祥見	2000	C34	大塚	強夫	10000	C39	住谷	博志	2000				

## お店紹介

### ソリッソ 原田 康次

下松工業会会員のみな様、初めまして。  
私は、今年3月より、工業会館一階にて、イタリア  
食堂ソリッソを営業させていただいております、  
原田です。

さっそくですが、営業の御案内をさせていただきます。

#### 営業時間

8:30~11:30 モーニング  
11:30~14:30 ランチ  
14:30~17:30 カフェ  
17:30~21:00 ディナー

定休日 毎週日曜日

(予約がある場合営業)

TEL 0833-43-0753

イタリア食堂ソリッソでは、私の30年間の料理経験の中より、地元の魚貝や野菜を中心に使い、あっさりとしたヘルシーなイタリア料理を、心掛けております。

また、前菜からパスタ料理、肉や魚料理、デザートに至るまで、すべて手づくりのほんとうのおいしさを味わっていただく為に、日々努力しております。

3階の和室での宴会では、オープン以来、度々お世話になり、誠にありがとうございます。

これからも、和食などいろいろ勉強をしてゆくつもりです。今後とも、よろしくお願い致します。

## おめでとうございます

瑞宝双光章 久行 由人 (C22)

文部科学大臣賞 河村 正浩 (C39)

## ご寄付

平成18年度 (平成19年3月31日まで)

M36	吉岡 正則	1,668円
C34	同窓会	20,000円
支部	帝人ファイバー	29,309円
M34	宮本 照夫	300,000円

## 新刊発行



句集

## 嗚呼回天

C39 河村 正浩 著

東京四季出版発行  
1,000円 (送料別途)

## 川柳

C41 山脇 司

### 年の差は言うな同窓皆仲間

いやあどうかいのう元氣しちよるかいのう。  
わしや相変わらずのおつちよちよいのたこ坊主よ。  
そりやあそつとピカソは五十にして若さを知つたちゆ  
うけえのう。わし等もまだ青春どまん中よ、等とラジ  
オの名調子等で差しさわりのない会話を交わす。

### 同窓の年の差酔うと逆になり

おつと、はあいけん、かなり酔いがまわつちよる。  
どつちが先輩やら後輩やら。

### 二次会を抜ける勇気のないグラス

初孫の誕生日が二月二十二日だからいつも同窓会と誕生会が重なる。「大丈夫、九時には終わるけん、九時半には帰るけん。」等と妻に言つて出たものの破れ発動機、廻り始めると止まらない。

### 酔つてきた証にマイク離さない

音痴同志が歌うと同レベルなのかお互いの歌がうまく聞こえる。「おい、今度はありよう歌おうやあ」「あれすか、なら先輩こりよう歌うてくさいやあ」歌の題名も出んが、ありじゃこれじゃで通じる。音痴同志、どうせ舟木一夫か三田明の昔むかしの青春物よ。

### 酔つた勢 チークダンスの千鳥足

### 勘定はラストダンスの手の中で

酔つていても金の計算はうまい。皆から少しずつ多くもらつて…… そんな事はしないよ、愛と正義の校是で学んだ仲間だもの。

### 起きて待つ妻に土下座の午前様

そんな女房じゃありません。

### 嘘のない妻の笑顔と飲み直す

「ありあ、今日は早いじゃあ」「そ、そ、それ程でも」照れくさいやら胸にじーんと来るやら。今年も楽しい同窓会の夜でした。

## 事務局からのお知らせ

### 平成20年度定時総会

と き 平成20年5月17日（土）午後1時～  
ところ 下松市大字西豊井1247番地（下松市駅南口）  
会 場 きらぼし館（きらぼしホール）  
多数の参加をお待ちしております。

### 第16回七彩会ゴルフ大会御案内

日 時 10月初旬又は中旬  
会 場 白須那カントリークラブ  
スタート イン・アウト 8時30分（20組）  
参 加 費 2,000円  
競技方法 ダブルペリア方式

### 七彩会麻雀大会

日 時 2月上旬  
会 場 下松工業会館  
会 費 2,000円

### 七彩会ボーリング大会

日 時 3月上旬  
会 場 くだまつボーリングセンター  
会 費 1,000円（くつ代自己負担）

※ゴルフ・マージャン・ボーリングに参加希望の方は事前にご連絡ください。詳しいご案内をいたします。

### 平成19年度就任支部長

下松市役所支部 C41 原田 一  
武田薬品工業光支部 C46 清水 勝

### お詫びについて

会報37号物故者の名簿覧の名簿を訂正お願い申し上げます。石川光義（M36）様に変な失礼なことを致したことを深くお詫び申し上げます。

### お願い

平成23年に母校創立90周年を迎えます。総会で承認されました募金目標金500万円也にご協力お願い申し上げます。また、運営基金のご協力もよろしくお願い申し上げます。また、年会費を前納されている方は、年会費の欄を二重線で消していますが、消し忘れがありましたら消してください。宜しく願い申し上げます。

▼下記については事務局にご連絡ください。

1. 会員名簿の内容に変更がありました場合、姓・現住所の変更等必ず一報ください。
2. 会員で叙勲及びこれに準ずる受章（受賞）をされた方がありましたらご連絡ください。
3. 会員の方のご不幸がありましたらご連絡ください。
4. クラス名簿、支部別名簿、タックシールはすべて対応が出来ますので必要な場合はお気軽にお申し出下さい。

クラス会や支部総会案内の作成、発送の事務も行いますのでご利用ください（但し、実費は頂きます）。

### 〃勧誘にご注意、

母校・同窓会等の名を借りた、新聞広告や資格取得の勧誘或いは名簿作成、同窓会名鑑の企画と言って、母校・同窓会以外の不詳団体から、郵便、電話があると聞いております。電話での勧誘並びに、母校又は同窓会の署名（学校長又は会長名）のないものは一切受け付けないで下さい。

### 支部発足にご協力ください

（社）下松工業会の充実を図るには地域の要となる支部の存在は不可欠です。下記地区で発足にご協力頂ける方は是非とも下松工業会事務局へご一報をお願いします。なお、何も下記地域に限定するものではありません。

岡山県、広島県、愛媛県、香川県、宇部市、山陽小野田市、下関市

## 編 集 後 記

会報は親しみやすく、読みやすいものにしたと、そして1人でも多くの皆さんに登場していただきたいと思っています。会報の充実を図るために皆様方からの原稿を（消息、トピックス、エッセイ等）をお待ちしています。

事務局